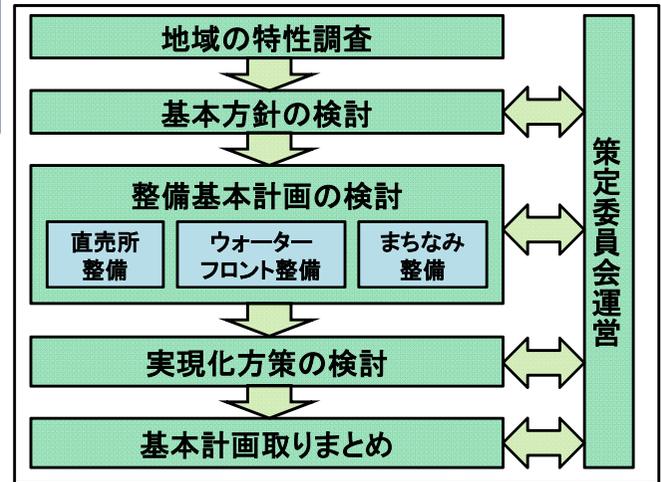


# 長門市仙崎地区における地域活性化に関する調査

○本市の喫緊の課題である地域産業の活性化のため、平成25年9月に策定した『ながと成長戦略行動計画』に基づく取組として、「地元直売所の整備」を掲げている。  
 ○そのため、平成26年9月に、地元から提出された『仙崎地区ランドデザイン基本構想』を基に、『仙崎地区ランドデザイン基本計画』を策定した。

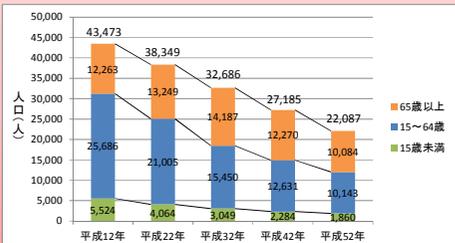
(調査の手順)



## 調査成果

### 【地域特性】

- ・人口減少、少子高齢化
- ・農業生産額減少
- ・将来の高速ネットワーク拡充



基本計画の検討にあたっては、基本計画に市民や関係者の意見を取り入れるため、市内の漁業、商業、観光業関係者や、直売所の運営を想定する合同会社代表等で構成する「仙崎地区ランドデザイン基本計画策定委員会」を組織し、平成26年12月から平成27年3月までに計4回の議論を重ね、基本計画を策定した。

基本計画に基づく取組は、市、既存組織又は新たに設置する検討組織において、具体的な検討を行いながら推進していく。また、「(仮称)仙崎地区ランドデザイン懇談会」を組織し、取組の各段階において取組の進捗を検証し、アドバイスを行う。

### 【整備基本計画】

#### ■直売所整備

- ・道の駅の登録を念頭に平成29年度開業に向けて先行的に整備

#### ■ウォーターフロント整備

- ・直売所と連携した機能を先行的に整備

#### ■まちなみ整備

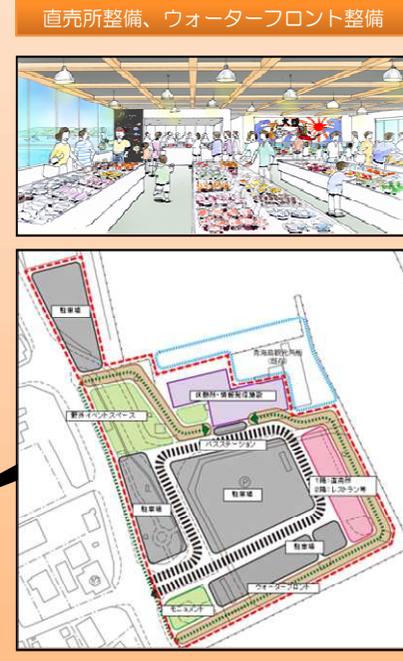
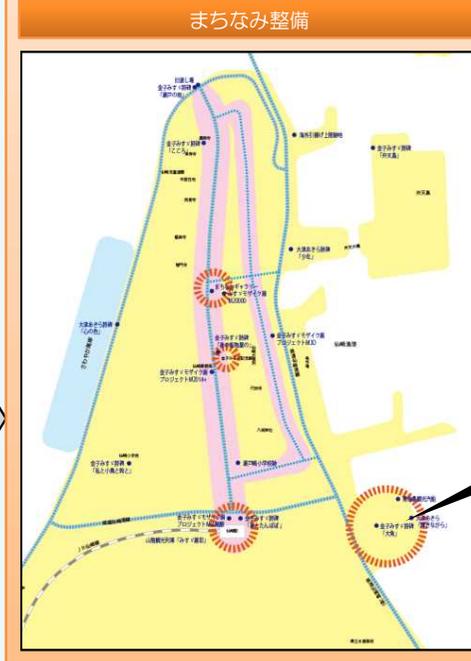
- ・仙崎駅、金子みすゞ記念館、仙崎漁港、街並みなど多くの観光資源を活用し、歩いて楽しむことができるようなまちづくりを推進

### 【課題】

- ・市外、県外からの交流人口の拡大と外貨の獲得
- ・長門の魅力拡大と域内消費の拡大を喚起する核となる拠点施設の整備

### 【基本方針】

『風 こだまするまち 仙崎』をコンセプトに、本市の交流拠点の核を仙崎地区とし、同地区における施設整備等により、さらなる交流人口の拡大を図り、「仙崎から市内各地へ」の流れをつくる。



## 基盤整備の見込み・方向性

- ・平成29年度直売所開業に併せて、関連するウォーターフロント整備、まちなみ整備を進める。

整備プラン	項目	H26年度	H27年度	H28年度	以降
直売所	休憩所・情報発信施設	■			
	直売所・レストラン	■			
	駐車場	■			
	野外イベントスペース	■			
ウォーターフロント	ベイサイドデッキ	■			
	ランドマーク施設	■			
まちなみ	サイン		■		
	レンタサイクル			■	
全体	ARアプリ			■	
		■	■	■	■

## 今後の課題

- 平成29年度直売所開業に向けた事業推進
  - ・基本計画を踏まえた施設の設計、施工
  - ・入居テナントの募集
  - ・設計、施工における管理予定者、入居予定者との調整
- 関係団体等による個々の取組の推進
  - ・関係機関との調整
  - ・民間企業の協力

長門市仙崎地区における地域活性化に関する調査			
調査主体	山口県長門市		
対象地域	山口県長門市	対象となる 基盤整備分野	道路、港湾

掲載

### 1. 調査の背景と目的

本市の喫緊の課題は、地域産業を活性化させ、若者の流出に歯止めをかけ、第1次産業を中心に「所得の向上」と「雇用の創出」を図ることである。

このため、本市では、ながと成長戦略検討会議の提言を受け、『ながと成長戦略行動計画』を平成25年9月に策定し、18の具体的な取組を進めている。

その取組の一つとして、「地元直売所の整備」を掲げている。平成24年3月に策定した『第1次長門市総合計画後期基本計画』においても、具体的な施策として「市場・直売所の整備」を掲げている。

平成26年5月、仙崎地区グランドデザイン基本構想策定委員会を立ち上げ、そこでの議論を経て、同年9月、同策定委員会から、『仙崎地区グランドデザイン基本構想』（以下「基本構想」という。）が提出された。

基本構想は、仙崎地区の地域資源が持つ魅力を最大限に引き出し、面として開発し、滞在時間を伸ばすため、味覚の魅力のみならず、海やまちなみなどが醸し出す様々な風が楽しめる地域全体の構想として示されたところである。

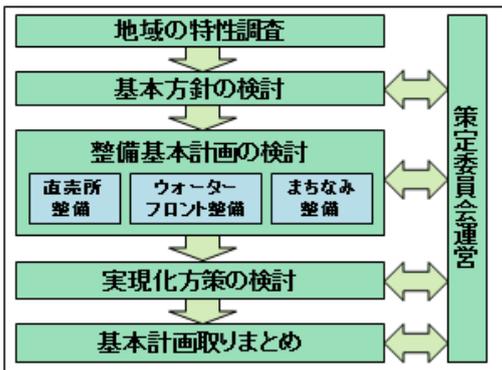
「食の拠点、文化の拠点及び自然の拠点を有する仙崎地区を、本市の交流拠点として整備し、ここ仙崎の地から、市内各地へ誘導する」との基本構想の考え方を基に、市として、『仙崎地区グランドデザイン基本計画』（以下「基本計画」という。）を策定した。

### 2. 調査内容

#### (1) 調査の概要と手順

- ① 地域の特性調査（人口、産業、観光、周辺状況）
- ② 基本方針の検討
- ③ 施設整備基本計画の検討（直売所整備、ウォーターフロント整備、まちなみ整備）
- ④ 実現化方策の検討
- ⑤ 仙崎地区グランドデザイン基本計画策定委員会の運営

（調査の手順）



## (2) 調査結果

### ①基本方針の検討

#### 1) 現状

本市は、山口県の西北部に位置し、人口 37,000 人の小規模のまちで、水産と観光の町として発展してきた。

昭和 30 年を境に人口減少に転じ、近年は若年層の人口減少が著しく過疎化が進み、主要産業における後継者不足や廃業、また、圏域の経済規模の縮小があいまって、漁業生産額は平成 18 年からの 4 年間で 3 割以上減少している。

また、国立社会保障人口問題研究所の将来推計人口では、平成 52 年には 22,000 人余と、現在の人口から 40% 余りも減少し、昨年 5 月には、日本創成会議が示す「消滅可能性都市」にも指摘された。

この状態が推移すれば、「長門市のまち」そのものの存続が危ぶまれる。

#### ●人口減少、高齢化の進展

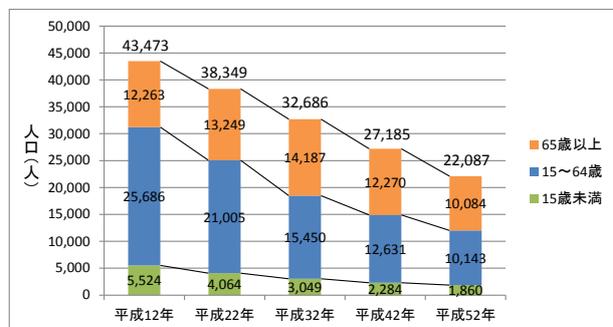


図 長門市の年齢別人口の推移

#### ●仙崎漁港の水揚高の減少

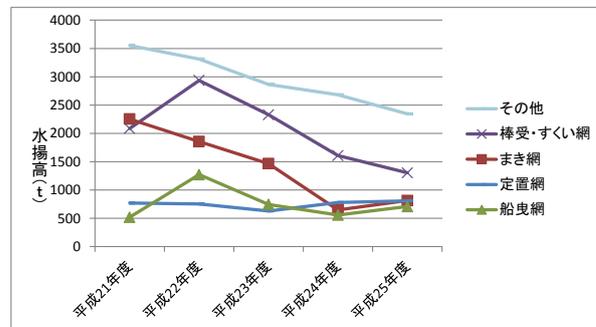


図 水揚高の推移（仙崎漁港）

#### ●仙崎地区への観光客の減少

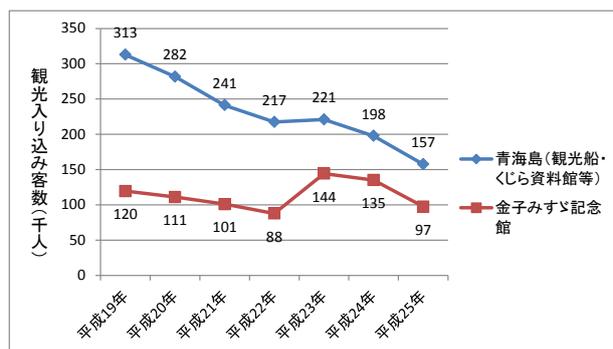


図 長門市の年齢別人口の推移

#### ●将来の高速ネットワーク拡充

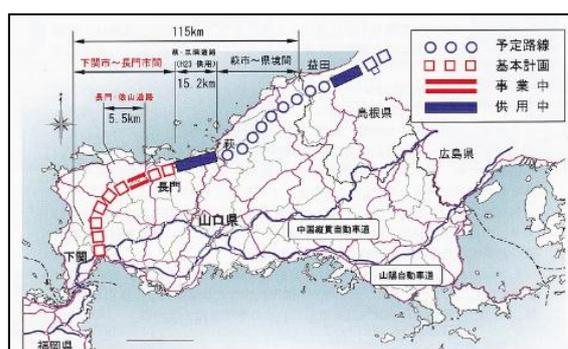


図 長門市の漁業・農業産出額の推移

## 2) 課題

本市では、市全域への「市外、県外からの交流人口の拡大と外貨の獲得」、「長門の魅力拡大と域内消費の拡大」の取組をさらに進めていくことが喫緊の課題であり、これらを喚起する核となる拠点施設の整備が求められている。

また、山陰道の整備計画が進められ、今以上のアクセス手段の向上が見込まれることから、市全域で滞留性を持たせる取組も必要である。

### 3) 基本方針

食の台所である魚市場、昔のまちなみと金子みすゞ記念館、そして、北長門海岸国定公園の景勝地。これらを有する「仙崎地区」が、本市の中では県内外の観光客の交流拠点として最もふさわしいと判断し、当地区における施設整備等を進める。

本市の交流拠点の核を仙崎地区とし、同地区における施設整備等により、さらなる交流人口の拡大を図り、「仙崎から市内各地へ」の流れをつくります。

### 4) コンセプト

基本計画の基本方針は、基本構想と方向性を共有するため、基本構想のコンセプトを本基本計画のコンセプトとして継承する。

「風 こだまするまち 仙崎」  
～～ 仙崎から市内全域の活性化へ ～～

### 5) 3つの整備プランの推進

仙崎地区の地域資源がもつ魅力を最大限に引き出し、面として展開し、滞在時間を伸ばすため、そして、市内の他の観光地や温泉へ波及させるために必要な整備として、次の三つの整備プランを推進する。

#### 【直売所整備】

駐車場、トイレ等の休憩機能と情報発信機能を持つとともに、長門のおいしい新鮮な魚や水産加工品、農産物を食してもらい、買ってもらう、また、地元の人も利用する交流の拠点施設として、長門の物産を揃えた直売所の整備を推進する。

#### 【ウォーターフロント整備】

仙崎地区の美しい海に親しみ、青海島の遊覧船等と連携しながら市場とレジャー客が一体的に賑わう、また、海洋産業等への経済効果も創出するウォーターフロントの整備を推進する。

#### 【まちなみ整備】

仙崎地区の金子みすゞさんの詩に描かれている自然や、やさしさあふれる風土、そして、大正・昭和前期の風情を残すまちなみ、これら多くの地域資源を体感してもらうため、趣のあるまちなみに再生し、足を運んでいただけるまちなみの整備を推進する。

## ②施設整備基本計画の検討

### 1) 直売所整備

直売所は、「ながと成長戦略行動計画」で示された整備スケジュール（平成29年度オープン）に基づき、先行的に施設整備を進める。

また、直売所は、基本構想において、『「道の駅」機能を有した施設』としており、「道の駅」登録を念頭においた検討を進めるものとする。

そのため、駐車場と一体的に「道の駅」の機能を確保するために、直売所と併せて整備することが必要な施設を先行的に着手し、その他の導入機能・施設等については、その後順次取り組んでいくものとする。

表 先行的に着手する取組

導入機能	導入施設等	施設整備への提案（基本構想）
休憩機能	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者に応じた便器数の確保</li> <li>・明るく、開放感・清潔感のあるもの</li> <li>・災害時に使用できるもの</li> <li>・バリアフリー</li> <li>・24時間利用可能</li> </ul>
	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設に近い場所に身障者用スペースを設置（雨天時に、濡れない配慮）</li> <li>・駐車場から施設までのバリアフリー</li> <li>・イベント開催時は、漁協スペースを活用</li> <li>・既存駐車場のリニューアル</li> <li>・施設利用者の交通安全対策</li> <li>・売り上げに見合う駐車スペースの確保</li> <li>・24時間利用可能</li> </ul>
	休憩スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆったり感のある休憩所の確保</li> </ul>
情報発信機能	情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の集約と発信機能が充実した施設</li> <li>・24時間利用可能電話の設置（停電時も利用可能）</li> </ul>
	観光案内所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光コンベンション協会事務所の設置</li> <li>・当所を拠点にしたまち歩きに繋がるもの</li> </ul>
地域関係機能	農林水産物の販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内農林水産物・加工品の販売</li> <li>・早朝（朝6時）からの営業</li> <li>・宅配サービス機能をもつ施設</li> </ul>
	レストラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚、野菜メインのバイキング料理等の提供</li> <li>・「ながと」らしさのあるフードコート</li> <li>・宅配サービスとの連動</li> <li>・ブランド魚「ケンサキイカ」等のメニュー化</li> <li>・直売所で購入した商品の調理サービス</li> <li>・直接販売できない商品の加工提供</li> </ul>
体験交流機能	体験交流施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タッチプール、魚のつかみ取り体験、かまぼこ・ちくわづくり体験コーナーの設置</li> </ul>
	プレイ施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児向け施設の整備</li> </ul>
コミュニティ機能	屋外ステージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニコンサートを鑑賞する施設の整備</li> </ul>
防災拠点機能	防災機能施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の一時避難所施設の整備</li> </ul>
	バスステーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外へのアクセスの基点となるバス（市内客対象・観光客対象）ステーションの整備</li> <li>・バスと乗用車の分別（別ライン）</li> </ul>
	電気自動車の充電設備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気自動車の充電設備の整備（移設）</li> </ul>
その他	冷凍・加工施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「冷凍→加工→直売」可能な施設の整備</li> </ul>
	太陽光発電施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ（省エネ、創エネ、蓄エネ）対象施設の整備</li> </ul>

表 導入施設及び規模

導入施設	規模
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小型車 150 台（うち身障者用等 4 台以上）</li> <li>・ 大型車 3 台以上を確保</li> </ul>
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男性用小便器 7 器、男性用大便器 3 器</li> <li>・ 女性用 8 器</li> <li>・ 多目的トイレ 1 式以上を確保</li> </ul>
情報発信施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面積 170 m<sup>2</sup></li> </ul>
事務室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務室面積 70 m<sup>2</sup></li> </ul>
直売所・レストラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面積 1,500 m<sup>2</sup></li> </ul>

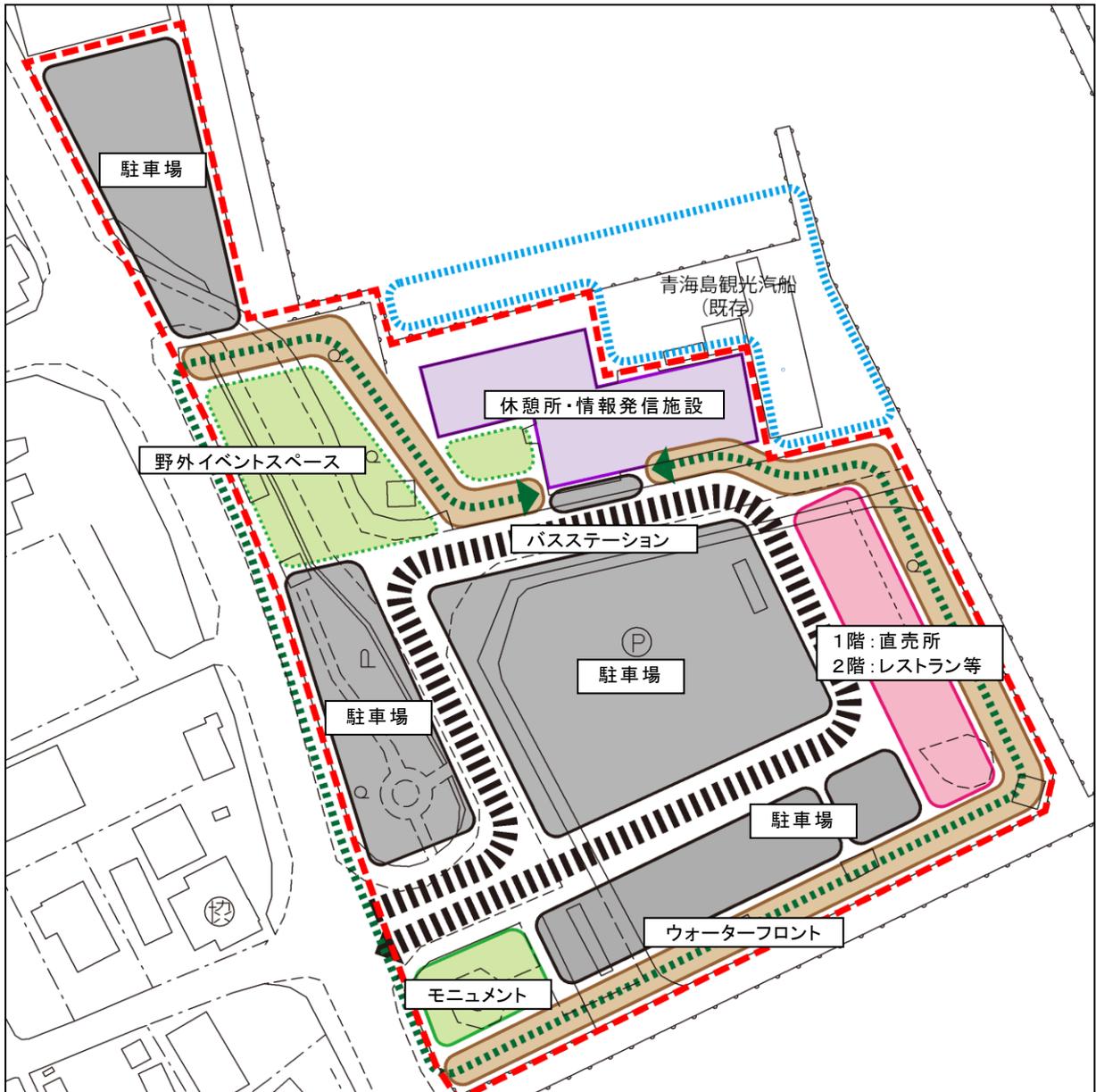


図 直売所整備の基本計画

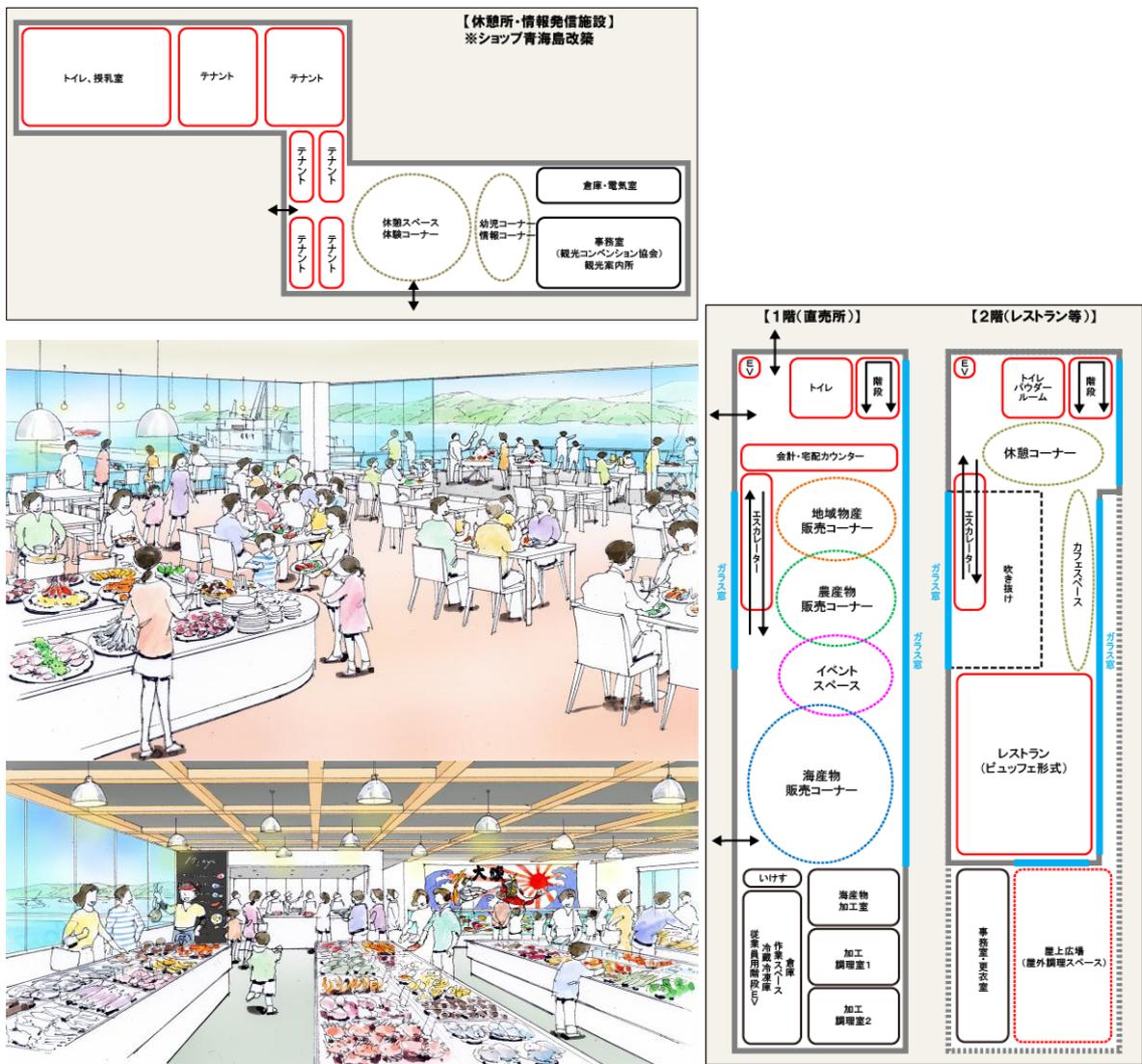


図 施設内配置計画

## 2) ウォーターフロント整備

直売所と連携した以下に示す機能整備に先行的に着手し、その他の導入機能・施設等については、その後順次取り組んでいくものとする。

なお、ウォーターフロント整備にあたっては、山口県所管の仙崎漁港区域における係留施設や土地利用計画との整合に留意するものとする。

表 先行的に着手する取組

導入機能	導入施設等	施設整備への提案（基本構想）
親水機能	ベイサイドデッキ	・ウッドデッキによる買い物空間・休息空間の整備
ランドマーク機能	ランドマーク施設	・仙崎を象徴し、直売所やウォーターフロントの目印（捕鯨の見張り塔など）となるものの設置
その他	展望デッキ	・漁港風情を感じさせる出入船の眺望が可能なもの ・観光汽船の建物を含めて整備（屋上を展望デッキに）

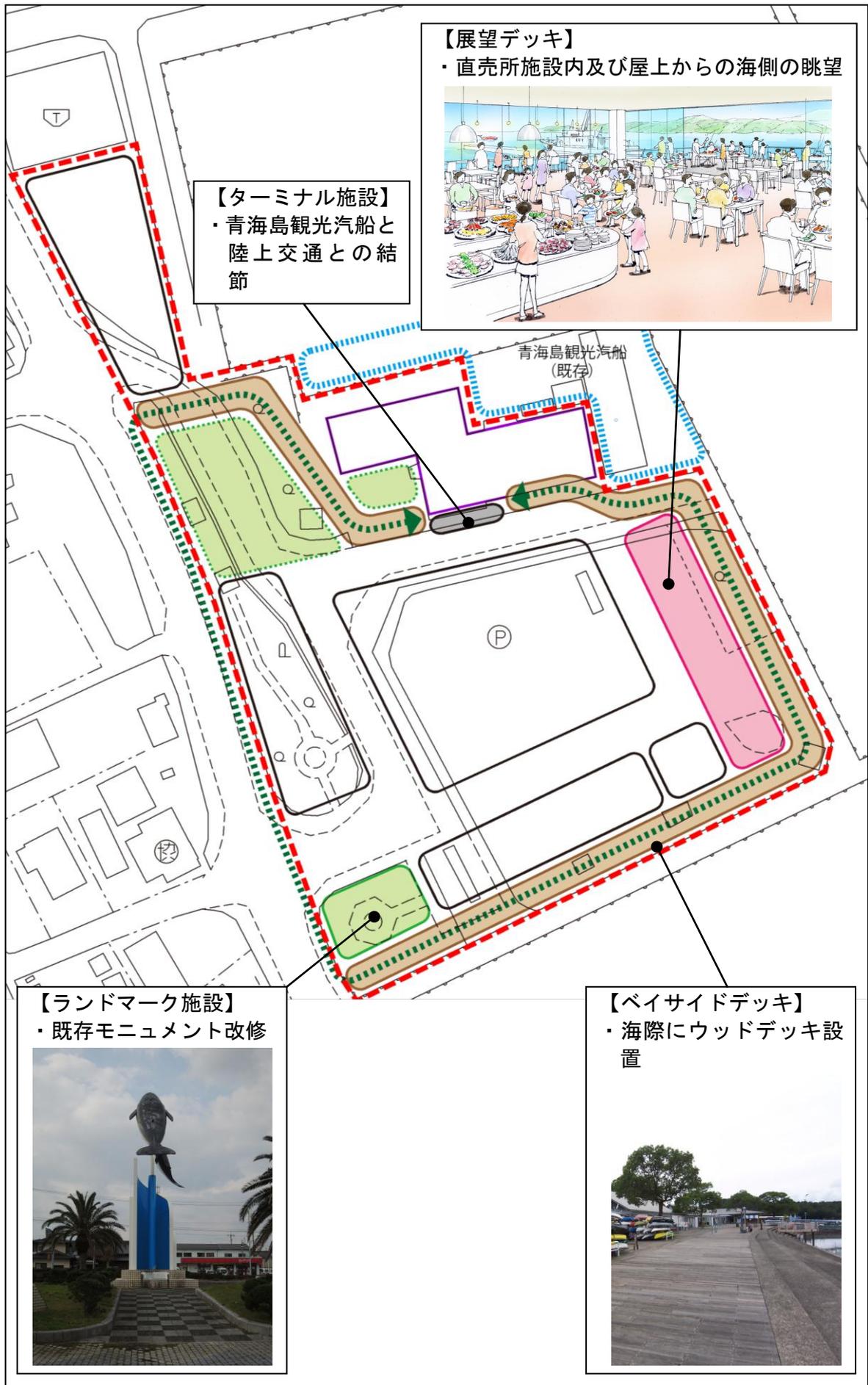


図 ウォーターフロント整備の基本計画

### 3) まちなみ整備

まちなみ整備にあたっては、仙崎駅、金子みすゞ記念館、仙崎漁港、街並みなど多くの観光資源を活用し、歩いて楽しむことができるようなまちづくりを進めるとともに、青海島や日本海の景観を楽しむ海岸通りなど新たな散策コースの開発により、多様な楽しみ方を味わうことができるような拠点整備を行う。

なお、基本構想で提案された導入機能・施設等については、以下に示す取組を先行的に着手し、その他の取組については、仙崎地区内に存する空き家・未利用地を活用した整備を行うなど、その後順次取り組んでいくものとする。

表 先行的に着手する取組

導入機能	導入施設等	施設整備への提案（基本構想）
金子みすゞさんの時代を体験できる機能	ARアプリの作成	・みすゞ通りで金子みすゞさんの時代の画像や動画を見ることができるスマホアプリの開発
散策機能	ウォークルート	・レンタサイクルの設置 ・サイクルマップの作成 ・案内表示の徹底と明確化 ・散策ルートの設定（例：天皇陛下の歌碑、大津あきらの歌碑、仙崎八景めぐり など）

#### 【ゾーニング】

- 交流ゾーン：来訪者の集まるみすゞ通り沿道及び「まちなかギャラリー」を設置している本町通り沿道を、来訪者の回遊を促進する「交流ゾーン」に位置づける。
- 暮らしゾーン：交流ゾーン以外の範囲については、地域住民の良好な生活空間を形成する「暮らしゾーン」に位置づける。

#### 【拠点】

- 交流拠点：休憩機能の充実した仙崎駅、直売所、金子みすゞ記念館、M20000周辺を「交流拠点」に位置づける。

#### 【動線】

- 回遊動線：交流ゾーンを含み、交流拠点、さわやか海岸を連絡する経路を「回遊動線」に位置づける。

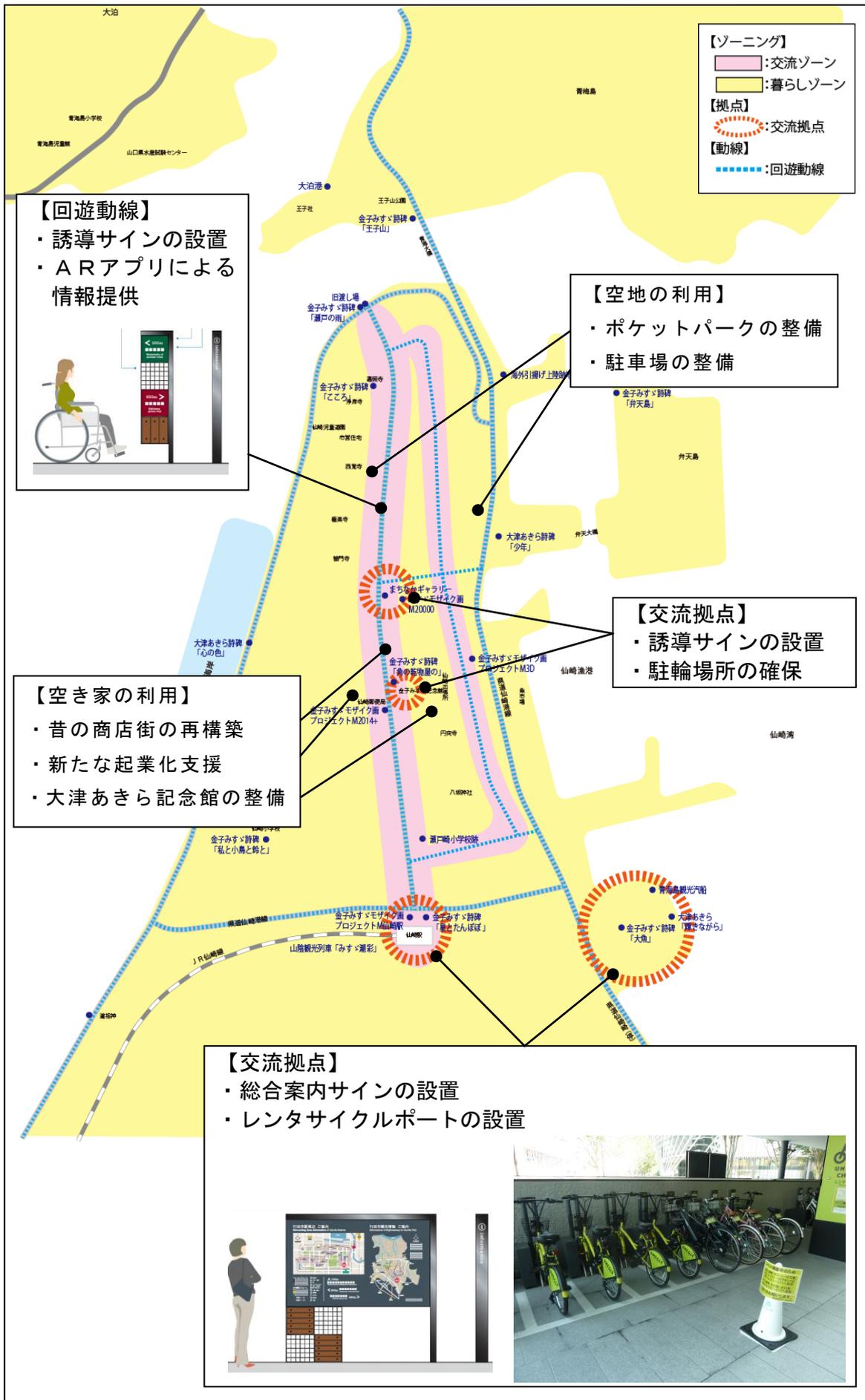


図 まちなみ整備の基本計画

